



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 第一工業製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大柳 雅利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務本部長 (氏名) 浦山 勇

TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,458	△8.2	427	△45.7	261	△60.4	112	△62.7
24年3月期第1四半期	14,659	17.5	786	9.4	660	0.9	302	27.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 35百万円 (△89.1%) 24年3月期第1四半期 321百万円 (603.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.64	—
24年3月期第1四半期	7.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	50,362	16,655	31.4	370.27
24年3月期	51,357	16,949	31.4	377.77

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,800百万円 24年3月期 16,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,500	△0.8	1,300	△1.8	1,100	1.6	600	71.8	14.06
通期	60,000	6.7	2,900	42.6	2,500	43.4	1,200	626.2	28.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	43,421,609 株	24年3月期	43,421,609 株
25年3月期1Q	748,646 株	24年3月期	748,646 株
25年3月期1Q	42,672,963 株	24年3月期1Q	42,673,881 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結結果計期間のわが国経済は、個人消費や震災復興需要が内需を下支えし、景気は緩やかな回復基調にあります。しかし、欧州債務危機による海外景気の下振れ、円高基調の持続や電力供給問題といったリスクがつきまとっております。

化学業界におきましても、生産活動は回復していますが、原油・ナフサなどの資源価格の動向は予断を許さず、また夏場の電力不足による生産停滞の懸念を抱えております。

このような状況のもと、当社グループは、この厳しい事業環境を乗り切るため、コア製品事業の拡販に努めるとともに、将来の成長分野である「環境」、「エネルギー」、「電子材料」、「生活資材」などの分野を中心に新規市場の開拓や新素材の開発に取り組み、原材料の安定的な確保や適正な採算確保、新コスト削減計画による総経費の削減活動などの取り組みを開始いたしました。

その結果、売上高につきましては、欧州債務危機による円高圧力や中国を中心とする不安定な海外景気から需要が停滞し、石鹼洗剤用途の活性剤などの『界面活性剤』は大幅に伸長しましたが、地球環境保護の動きに対応した電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』が顕著に落ち込みました。また、電機・電子材料用途の難燃剤や光硬化樹脂用材料などの『機能材料』も大きく落ち込みましたことから、当第1四半期連結結果計期間の売上高は134億58百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

損益面につきましては、営業経費の削減効果はありますが、市況悪化に伴う売上高の減少や原材料費の高騰並びに低操業による原価の増加が採算の悪化を招き、営業利益は4億27百万円（前年同期比45.7%減）となりました。また、円高による為替差損の発生や金融費用の増加に伴う金融収支の悪化から、経常利益は2億61百万円（前年同期比60.4%減）となりました。これに固定資産処分損や税金費用を差し引きしました結果、四半期純利益は1億12百万円（前年同期比62.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、トイレットリー用途の活性剤はやや低調に推移しましたが、石鹼洗剤用途の活性剤は顕著に伸長しました。ゴム・プラスチック用途の活性剤も伸長し、金属用途の活性剤は堅調に推移しました。

海外では、色材用途の活性剤は堅調に推移しましたが、ゴム・プラスチック用途及び繊維用途の活性剤はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は50億56百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

営業利益は、子会社の設備投資に伴う製造固定費の増加や営業経費の増加等により2億28百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じて低迷しました。

国内では、セルロース系高分子材料は飼料用途や食品用途が堅調に推移しましたが、ショ糖脂肪酸エステルは化粧品用途や食品用途がやや低調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料は医薬品用途や食品用途が低調に推移しました。ショ糖脂肪酸エステルは食品用途がやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は17億44百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

営業利益は、効率的な生産や営業経費の削減に努めましたが、資源価格が高水準で推移し利益を圧迫しましたことから76百万円（前年同期比48.3%減）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

東日本大震災による需要の落ち込みはほぼ回復し、ゴム・プラスチック用途は好調に推移しました。建築用材料も順調に推移し、重防食塗料用途も堅調に推移しました。岩盤固結剤は公共工事の減少によりやや低迷しました。

その結果、当事業の売上高は18億81百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

当事業は、営業経費の削減などに努めましたが、市況悪化に伴う高付加価値品の売上高が減少し、原材料費の高騰並びに低操業による原価の増加など適正な採算が確保できず11百万円の営業損失（前年同期は19百万円の利益）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて大きく落ち込みました。

国内では、難燃剤はデジタル家電用途が低迷しました。光硬化樹脂用材料は、電子材料用途が在庫調整等によりやや低迷しました。水系ウレタン樹脂はフィルム用途や接着剤用途が堅調に推移しましたが、鋼板向け用途がやや低調に推移しました。

海外では、光硬化樹脂用材料は新規開発が実り堅調に推移し、水系ウレタン樹脂も堅調に推移しましたが、デジタル家電用途の難燃剤は低迷しました。

その結果、当事業の売上高は25億31百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、売上高の落ち込みや政策的な売価の改訂に加え、原材料費の高騰が響き88百万円（前年同期比64.7%減）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて顕著に落ち込みました。

地球環境保護の動きに対応した電子材料用途の導電性ペーストは顕著に落ち込みました。射出成型用ペレットや機能性無機材料はやや低迷しました。

その結果、当事業の売上高は22億44百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、売上高の落ち込みが響き45百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて9億94百万円減少し、503億62百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が3億61百万円増加しましたが、現金及び預金が13億37百万円、建物及び構築物などの有形固定資産の合計が1億53百万円、投資有価証券が76百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べて7億円減少し、337億7百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が2億33百万円増加しましたが、未払法人税等が2億9百万円、長期借入金が5億49百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて2億94百万円減少し、166億55百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払2億98百万円や当四半期純利益1億12百万円の計上により、利益剰余金が1億85百万円、その他有価証券評価差額金が2億27百万円減少したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末と同じく31.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月10日付で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,470,831	4,133,805
受取手形及び売掛金	12,843,524	13,204,831
商品及び製品	6,624,944	6,476,957
仕掛品	41,292	40,803
原材料及び貯蔵品	1,754,394	1,839,871
前払費用	209,041	186,698
繰延税金資産	306,629	306,328
その他	1,025,620	1,311,498
貸倒引当金	△10,901	△12,247
流動資産合計	28,265,377	27,488,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,874,346	7,797,460
機械装置及び運搬具（純額）	3,363,546	3,242,719
工具、器具及び備品（純額）	475,240	463,578
土地	5,018,626	5,026,256
リース資産（純額）	1,812,508	1,723,324
建設仮勘定	451,078	588,892
有形固定資産合計	18,995,346	18,842,232
無形固定資産		
その他	505,086	523,554
無形固定資産合計	505,086	523,554
投資その他の資産		
投資有価証券	2,637,990	2,561,195
長期貸付金	27,819	27,211
長期前払費用	305,468	291,265
繰延税金資産	256,246	250,950
その他	373,794	390,061
貸倒引当金	△10,000	△12,230
投資その他の資産合計	3,591,318	3,508,454
固定資産合計	23,091,751	22,874,241
資産合計	51,357,128	50,362,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,233,559	11,466,736
短期借入金	9,701,284	9,643,026
リース債務	428,078	433,074
未払法人税等	299,982	90,037
賞与引当金	438,808	348,607
環境対策引当金	4,170	4,170
未払事業所税	29,683	7,662
未払費用	220,053	218,877
その他	2,262,288	2,346,563
流動負債合計	24,617,909	24,558,754
固定負債		
長期借入金	5,999,000	5,449,800
リース債務	1,877,519	1,798,552
繰延税金負債	101,650	104,298
退職給付引当金	1,434,064	1,426,547
環境対策引当金	1,920	1,920
資産除去債務	70,495	70,612
その他	305,151	297,034
固定負債合計	9,789,801	9,148,766
負債合計	34,407,711	33,707,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,141,707	7,141,707
資本剰余金	5,470,211	5,470,211
利益剰余金	4,478,812	4,292,906
自己株式	△197,193	△197,193
株主資本合計	16,893,537	16,707,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△479,356	△707,325
繰延ヘッジ損益	194	△77
為替換算調整勘定	△293,793	△199,729
その他の包括利益累計額合計	△772,955	△907,132
新株予約権	13,842	15,918
少数株主持分	814,991	838,849
純資産合計	16,949,416	16,655,267
負債純資産合計	51,357,128	50,362,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	14,659,142	13,458,054
売上原価	11,661,722	10,876,097
売上総利益	2,997,419	2,581,957
販売費及び一般管理費	2,211,361	2,154,847
営業利益	786,058	427,109
営業外収益		
受取利息	701	534
受取配当金	1,096	940
持分法による投資利益	13,343	15,945
その他	34,407	20,448
営業外収益合計	49,549	37,868
営業外費用		
支払利息	71,781	72,560
為替差損	28,842	49,220
その他	74,503	81,845
営業外費用合計	175,127	203,627
経常利益	660,479	261,351
特別利益		
負ののれん発生益	42,903	—
特別利益合計	42,903	—
特別損失		
固定資産処分損	14,953	13,077
段階取得に係る差損	94,704	—
特別損失合計	109,658	13,077
税金等調整前四半期純利益	593,725	248,273
法人税、住民税及び事業税	119,230	105,090
法人税等調整額	163,113	10,873
法人税等合計	282,343	115,963
少数株主損益調整前四半期純利益	311,381	132,309
少数株主利益	8,692	19,505
四半期純利益	302,689	112,804

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311,381	132,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,768	△227,289
繰延ヘッジ損益	△466	△272
為替換算調整勘定	35,148	108,849
持分法適用会社に対する持分相当額	6,240	21,403
その他の包括利益合計	10,154	△97,308
四半期包括利益	321,535	35,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,815	△21,373
少数株主に係る四半期包括利益	15,720	56,374

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

（単位：千円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,594,451	1,936,163	1,859,267	3,001,661	3,267,599	14,659,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,594,451	1,936,163	1,859,267	3,001,661	3,267,599	14,659,142
セグメント利益（営業利益）	308,547	148,669	19,628	250,196	59,015	786,058

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

（単位：千円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,056,074	1,744,216	1,881,882	2,531,641	2,244,239	13,458,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,056,074	1,744,216	1,881,882	2,531,641	2,244,239	13,458,054
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	228,032	76,814	△11,930	88,389	45,802	427,109

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。